

夏野菜 おいしく育てて

西条 丹原高生 児童らと苗植え



丹原高生(右)からアドバイスをもらい、ミニトマトの苗を植える小学生

農業体験を通して親子で命の大切さを学ぶ食育イベントが2日、西条市丹原町願連寺の丹原高校であり、市内の小学生ら約40人が校内の農場で夏野菜の苗植えを体験した。

子どもたちは、ミニトマト、ナス、ピーマン、オクラの4種類のうち一つを選び、同校園芸科学科9人の手ほ

どきを受けて挑戦。「ナスの葉っぱが紫色になっていて不思議」「早く大きく育ててほしい」などと口にしながら、丁寧に土をかぶせていた。

神拝小学校3年の高瀬翔真さん(8)は「野菜の中で一番大好きなミニトマトを植えた。土を掘る作業も楽しくて、収穫が楽しみ」

とにっこり。丹原高2年の荻田天寧さん(16)は「子どもに積極的に話しかけ、同じ目線で楽しむことができた」と充実した様子だった。

イベントは西条青年会議所が初めて開催。7月には、今回の参加者が野菜を収穫し、カレーを作ることにしている。(伊藤義樹)